

音楽科

【研究主題】

音楽のよさや美しさを、豊かに感受できる生徒の育成

【研究副主題】

音楽に関する言葉を用いて、自己の感性を磨く学びの追究

公開授業

学級：3年1組 授業者：力田和歌子

「J-pop」の魅力に迫ろう



現行の学習指導要領においては、「生活の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力の育成」が求められています。これは、私たちの目の前の子どもたちが、「生活の中の音や音楽」を“音楽の授業で学習した視点”を用いて、曲を聴いたり、口ずさんだりできるようになるということにほかなりません。

そこで今回は、ポピュラー音楽の中で、最も生徒に身近な「J-POP」を取り扱います。
(教材曲は、NHK紅白歌合戦で披露された曲の中から取り上げます。)

J-POPは、“**義務教育9年間の授業で培った鑑賞の力**”を用いて、

そのよさや面白さに気づき、生活と音楽とを結びつけることができる教材になりうると考えました。

また、最近では、AIが歌う楽曲が登場するなど、子どもたちが聴く音楽は多様化していますが、本題材の学習を通して、**いかに時代が変わろうとも人間の生の声で感情を込めて歌われる「歌のよさ」**を生徒に感じさせることができたらと思います。

当日は、グループ内での対話活動を通して、曲のよさや面白さを分析し、自分にとっての曲の価値を明らかにしていく過程を御覧いただきます。

メタ認知との関わり

音や音楽を「音楽的な見方・考え方」を働かせながら聴くことができるようにすることが肝要です。その上で、「既習事項や日常生活の中で耳にする音楽とのつながり」を考えたり、「**焦点化された音楽を形づくっている要素に着目して**」聴取したりさせます。また、自分が感じた曲のよさや面白さを他者に伝えるために、適切に「**音楽に関する言葉**」を用いることができているかどうかについても検討させます。

詳細はこちら

長崎大学教育学部附属中学校教育研究協議会

令和6年1月26日(金) 9:00 ~ 16:15

